

社会資本総合整備計画書 (半田市)

事後評価

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	地域の公園整備による防災力を向上させたまちづくり(防災・安全)																																				
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)					交付対象	半田市																														
計画の目標	<p>近年では交通事故や防犯上の問題が多く、屋外で安心して安らぐ空間である公園がクローズアップされている中、遊具等の公園施設が老朽化し、快適・安全に使用できない状況となっているため、安全・安心な公園施設の利用、効果的な維持管理や保全・改築の計画として公園施設長寿命化計画を策定し、計画に基づいた公園施設の改築・更新を実施することで誰もが快適に利用できる公園施設の提供を行いたい。</p> <p>半田市北東部にある乙川地区においては、半田乙川中部土地区画整理事業が終盤を迎え、年々住居が立ち並び人口も増加してきている中、地震災害時に不可欠である応急避難場所の機能を備えた公園の整備が立ち遅れている。さらに、区画整理周辺においては、地区公園レベルの大きな公園はなく、地元住民からも大きな公園を整備する要望が多くあるため、七本木池公園の整備を進めていきたい。</p>																																				
計画の成果目標(定量的指標)	<p>公園施設の調査を実施し、平成25年度末には57箇所(57箇所)の公園について公園施設長寿命化計画を策定する。</p> <p>公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園施設の改築工事を行い、改築が行われた公園数を0公園(H23当初)から22公園(H27末)にする。</p> <p>七本木池公園などを整備し、1人当たりの都市公園面積を6.1㎡/人(H23当初)から7.0㎡/人(H27末)にする。</p>																																				
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H23当初)</th> <th>(H25末)</th> <th>(H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公園施設長寿命化計画の策定において公園施設を調査する。</td> <td>0 公園</td> <td>57公園</td> <td>57公園</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公園施設長寿命化計画に基づき、改築工事を実施した公園の数を調査する。</td> <td>0 公園</td> <td>15公園</td> <td>22公園</td> <td></td> </tr> <tr> <td>半田市内の1人当たりの都市公園面積を調査する。</td> <td>6.1㎡/人</td> <td>6.1㎡/人</td> <td>7.0㎡/人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H23当初)	(H25末)	(H27末)	公園施設長寿命化計画の策定において公園施設を調査する。	0 公園	57公園	57公園		公園施設長寿命化計画に基づき、改築工事を実施した公園の数を調査する。	0 公園	15公園	22公園		半田市内の1人当たりの都市公園面積を調査する。	6.1㎡/人	6.1㎡/人	7.0㎡/人	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																	
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																																		
	(H23当初)	(H25末)	(H27末)																																		
公園施設長寿命化計画の策定において公園施設を調査する。	0 公園	57公園	57公園																																		
公園施設長寿命化計画に基づき、改築工事を実施した公園の数を調査する。	0 公園	15公園	22公園																																		
半田市内の1人当たりの都市公園面積を調査する。	6.1㎡/人	6.1㎡/人	7.0㎡/人																																		
全体事業費	合計(A+B+C)	407百万円	A	364百万円	B	C	43百万円	効果促進事業費の割合(A(提案分)+C/(A+B+C))	10.6%																												
事後評価																																					
○事後評価の実施体制、実施時期																																					
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期																																
					平成29年8月																																
本事業を主管する都市計画課で数値目標の達成状況や事業効果の発言状況を検証するとともに、その要因を分析した。					公表の方法																																
					ホームページにて公表																																
1. 交付対象事業の進捗状況																																					
交付対象事業																																					
A1 基幹事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考																						
									H23	H24	H25	H26	H27																								
1-A-1	公園	一般	半田市	直接	半田市	公園施設長寿命化計画策定事業(半田市)	長寿命化計画策定 N=57箇所	半田市							11																						
1-A-2	公園	一般	半田市	直接	半田市	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(半田市)	遊具、休養施設改築 N=15公園	半田市							45																						
1-A-3	公園	一般	半田市	直接	半田市	都市公園事業(七本木池公園)	園路、トイレ、休養施設整備 A=12ha	半田市							248																						
1-A-4	公園	一般	半田市	直接	半田市	公園施設長寿命化対策支援事業(半田市)	遊具、修景施設改築 N=19公園	半田市							60																						
合計													364																								
B 関連社会資本整備事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考																						
									H23	H24	H25	H26	H27																								
合計																																					
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																										
C 効果促進事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考																						
									H23	H24	H25	H26	H27																								
1-C-1	公園	一般	半田市	直接	半田市	都市公園整備事業(向山公園、向田公園)	・向山公園 遊具整備 A=1,000m2(H25、H26) ・向田公園 遊具整備 A=1,000m2(H25、H26)	半田市						38																							
1-C-2	公園	一般	半田市	直接	半田市	都市公園改築事業(平地公園)	・造成工事 A=2,800m2(H25、H26)	半田市						2																							
1-C-3	公園	一般	半田市	直接	半田市	事業活用調査	事業効果分析調査	半田市						3																							
合計													43																								

番号	一体的に実施することにより期待される効果	
1-C-1	都市公園整備事業(七本木池公園)(1-A-3))と一体で行うことにより、半田乙川中部土地区画整理事業により整備された公園とネットワークを形成することができ、市北部地域における地震災害時の連携強化を図ることができる。	
1-C-2	都市公園整備事業(七本木池公園)(1-A-3))と一体的に整備を行うことにより、新たに応急避難場所として指定することができ、また地震災害時に七本木池で分断された既成市街地の連携体制が向上できる。	
1-C-3	社会資本整備計画に基づき行った事業について成果・課題を整理・分析することで、効果の持続と今後のまちづくりの改善につながる。	

2. 事業効果の発現、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現		<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画を策定し、それに基づき老朽化した公園施設の改築工事を実施することにより、誰もが快適に利用できる公園施設の提供を行えた。 市民一人当たりの公園面積が増えた。 				
II 定量的指標の達成状況	指標①(長寿命化計画策定公園数)	最終目標値(H27末)	57 公園	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値(H27末)	57 公園			
	指標②(施設改修実施公園数)	最終目標値(H27末)	22 公園	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値(H27末)	30 公園			
	指標③(一人当たりの都市公園面積)	最終目標値(H27末)	7.0 m ² /人	目標値と実績値に差が出た要因		新規の公園等を都市公園として編入したため。
		最終実績値(H27末)	7.26 m ² /人			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						

3. 特記事項(今後の方針)

今後も計画的に公園施設の改築・更新を実施することで、誰もが快適に利用できる安全・安心な公園施設を提供する。

(参考図面) 公園

